【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成31年4月4日(2019.4.4)

【公開番号】特開2018-26404(P2018-26404A)
【公開日】平成30年2月15日(2018.2.15)
【年通号数】公開・登録公報2018-006
【出願番号】特願2016-155723(P2016-155723)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ　21/683　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｌ　21/68　　Ｎ

【手続補正書】
【提出日】平成31年2月22日(2019.2.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
定盤と、
被検査対象のマスクを略鉛直方向に保持する略枠状のフレームと、前記フレームを回転させる回転機構と、を有するマスク保持部と、
前記定盤に載置されるとともに、前記マスク保持部が載置される移動部であって、前記定盤の長手方向に沿って移動可能に設けられた移動部と、を備え、
前記回転機構は、前記フレームの下側に位置する枠部分の両端近傍に設けられた第１のナット部材及び第２のナット部材と、前記第１のナット部材及び前記第２のナット部材とそれぞれ螺合する第１のネジ部材及び第２のネジ部材と、前記第１のネジ部材と前記第２のネジ部材とを異なる量だけ回転させる回転駆動部と、を有し、
前記移動部には、第１のピン及び第２のピンが略鉛直方向に設けられ、
前記第１のネジ部材は、前記第１のピンの上方に、平面視において前記第１のピンと重なる位置に設けられ、
前記第２のネジ部材は、前記第２のピンの上方に、平面視において前記第２のピンと重なる位置に設けられる
ことを特徴とするマスク保持装置。
【請求項２】
前記フレームの側面には、光を入射方向に戻すための反射鏡が設けられ、
前記回転駆動部は、アクチュエータと、前記第１のネジ部材と同軸に設けられ、前記第１のネジ部材を回転させる第１のスプロケットと、前記第２のネジ部材と同軸に設けられ、前記第２のネジ部材を回転させる第２のスプロケットと、アクチュエータの駆動軸と、前記第１のスプロケット及び前記第２のスプロケットとを連結する動力伝達部と、を有し、
平面視において、前記反射鏡と前記第２のネジ部材との距離を距離Ａとし、前記反射鏡と前記第１のネジ部材との距離を距離Ｂとすると、前記第１のスプロケットの歯数αと、前記第２のスプロケットの歯数βとは、歯数α：歯数β＝距離Ａ：距離Ｂの関係を有する
ことを特徴とする請求項１に記載のマスク保持装置。
【請求項３】
前記定盤の上面には、前記定盤の長手方向に沿った溝が形成され、

前記移動部は、前記溝の底面に向けて空気を吐出する下面エアパッドと、前記溝の側面に向けて空気を吐出する側面エアパッドと、前記下面エアパッド及び前記側面エアパッドが設けられる移動部材本体と、を有し、
前記第１のピン及び前記第２のピンは、下端が前記下面エアパッドに設けられ、かつ上端が前記移動部材本体に設けられ、
前記第１のネジ部材及び前記第２のネジ部材は、下端が前記移動部材本体に設けられ、
前記移動部材本体は、前記溝に沿って移動する
ことを特徴とする請求項１又は２に記載のマスク保持装置。
【請求項４】
前記下面エアパッドは、前記移動部材本体の第１の端近傍に設けられた第１下面エアパッドと、前記移動部材本体の前記第１の端と反対側の第２の端近傍に設けられた第２下面エアパッドと、を有し、
前記第１下面エアパッドの底面略中央部には、空気を吐出する第１開口部が形成され、
前記第２下面エアパッドの底面略中央部には、空気を吐出する第２開口部が形成され、
前記第１のネジ部材及び前記第１のピンは、平面視において、前記第１開口部と重なる位置に設けられ、
前記第２のネジ部材及び前記第２のピンは、平面視において、前記第２開口部と重なる位置に設けられる
ことを特徴とする請求項３に記載のマスク保持装置。
【請求項５】
前記移動部材本体の上面側には、前記第１のピンと中心軸が略一致する位置に第１のアンギュラ玉軸受が設けられ、前記第２のピンと中心軸が略一致する位置に第２のアンギュラ玉軸受がそれぞれ設けられ、
前記第１のネジ部材の下端は、前記第１のアンギュラ玉軸受に軸支され、前記第２のネジ部材の下端は、前記第２のアンギュラ玉軸受に軸支される
ことを特徴とする請求項３に記載のマスク保持装置。
【請求項６】
前記移動部を前記定盤の長手方向に沿って移動させる第１のリニアモータと、前記第１のリニアモータに追随して駆動される第２のリニアモータと、を有し、
前記移動部には、前記第１のリニアモータの可動子が設けられ、
前記フレームの上側には、ガイド部材が水平方向に対して傾いて設けられ、
前記ガイド部材には、前記第２のリニアモータの可動子が前記ガイド部材に沿って移動可能に設けられるとともに、前記第２のリニアモータの可動子を前記ガイド部材に対して固定する固定部材が設けられる
ことを特徴とする請求項１から５のいずれか一項に記載のマスク保持装置。